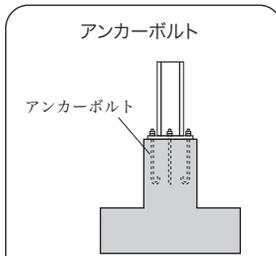
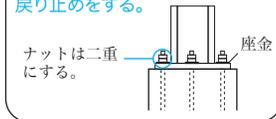
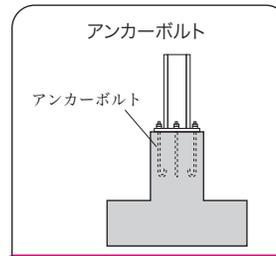
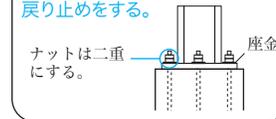


『図説 やさしい建築一般構造』第5版第1刷 正誤表

本書において下記のとおり誤りがございました。

深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。

2025年6月(株)学芸出版社

	誤	正
p.53 2-2 張り間方向 1階右側	<p>●存在壁量</p> $91 \times 4 \times 2.5 = 682.5 \quad \Rightarrow \quad 682.5$ <p>(cm) (cm) (cm)</p>	<p>●存在壁量</p> $91 \times 3 \times 2.5 = 682.5 \quad \Rightarrow \quad 682.5$ <p>(cm) (cm) (cm)</p>
p.53 2-2 桁行き方向 1階下側	<p>●存在壁量</p> $91 \times 5 \times 2.5 = 682.5 \quad \Rightarrow \quad 682.5$ <p>(cm) (cm) (cm)</p>	<p>●存在壁量</p> $91 \times 3 \times 2.5 = 682.5 \quad \Rightarrow \quad 682.5$ <p>(cm) (cm) (cm)</p>
p.101 中央右側 アンカーボルト	<p>アンカーボルト</p>  <p>アンカーボルト</p> <p>◎アンカーボルト:径16~32 mm</p> <p>◎埋込長さ:ボルト径の30倍以上 (引張力が生じる場合は40倍以上)</p> <p>※柱を中心に均等に配置する。</p> <p>露出形式では、アンカーボルトのナットを二重にし、座金を用いて戻り止めをする。</p>  <p>ナットは二重にする。 — 座金</p>	<p>アンカーボルト</p>  <p>アンカーボルト</p> <p>◎アンカーボルト:M 16~M48 JIS規格 (Mはねじの呼び名)</p> <p>◎埋込長さ:ボルト径の20倍以上</p> <p>※アンカーボルトの先端はかぎ状に折り曲げるか、定着金物を設ける。</p> <p>※柱を中心に均等に配置する。</p> <p>露出形式では、アンカーボルトのナットを二重にし、座金を用いて戻り止めをする。</p>  <p>ナットは二重にする。 — 座金</p>